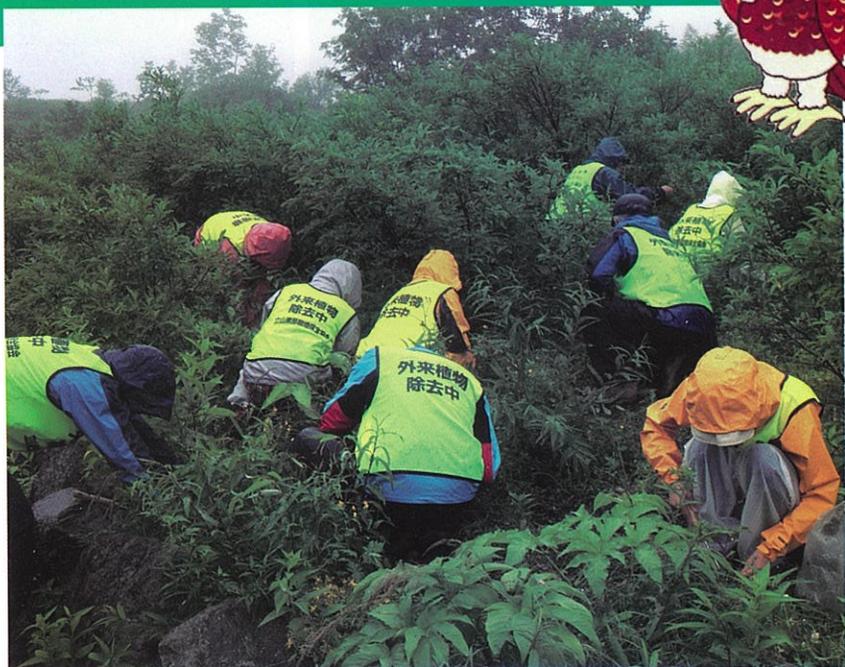


外来植物除去

立山の生態系をまもるために



富山県が誇る国際山岳ルートとして、国内外から年間100万人程度の人々が訪れる「立山黒部アルペンルート」は、外来植物の侵入が問題となっています。このまま放っておくと「立山」本来の素晴らしい山岳景観と貴重な生態系が破壊される恐れがあります。

そこで私たちは、外来植物の除去に取り組んでいます。みなさんのご協力をお願いします。

富山県・立山外来植物除去対策検討委員会

どうやって減らすのか？

外来植物が繁殖・拡散する原因を探り、3つの観点から対策を講じています。

1 外来種が生育する土地の管理方法を改善

踏み荒らしや工事の跡地など裸地のまま放置された空間を、現地産植物で植生復元したり、砂利敷きの駐車場の管理方法を検討します。

2 外来植物種子の侵入を阻止

- ◆車両に付着した種子は、タイヤ洗浄装置で洗い流します。
- ◆靴底に付着した種子は、除去マットを設置して除去します。
- ◆衣類や荷物に付着した種子は、入山前に各人が払い落とすよう啓発します。

3 定着してしまった外来植物は徹底的に除去

状況に即して、重点的に除去する植物と対象エリアを定め、効果的な時期、手法で徹底的に除去を実施していきます。

除去はみんなの力で!

立山の外来植物の除去活動は、たくさんのボランティア団体の活動に支えられています。

活動を支援するために、立山自然保護センターでは、除去指導員の派遣や除去活動を行なうための用具類（ハサミや移植ゴテなどの器具、ゼッケンや腕章など）を貸し出しています。



外来植物とは？

自然の状態であれば、もともと立山一帯に生育しないと考えられる植物が、人為的な環境を私たち人間が作り出したことが原因で、他の地域から侵入し、増殖・拡散している植物を指します。

外来植物

外国から 入ってきた植物

国外原産の植物で、近年日本国内に生育するようになった種（セイヨウタンポポ、シロツメクサ等）



セイヨウタンポポ

国内の低地・地域外から 入ってきた植物

低地性植物が高地に侵入した種（オオバコ、スギナ等）他地域から侵入した種（エゾノタカネヤナギ等）



オオバコ



エゾノタカネヤナギ

なぜ除去するのか？

立山独自の生態系は、立山に本来生育する植物を中心に多様な生物が網の目のように様々な関係でつながっていることで形づくられています。

この中に外来植物が侵入し繁殖・拡散することで、本来の植物の生育地が奪われたり、立山地域で培われてきた遺伝子組成が徐々に失われ、その結果として生態系が壊されてしまうおそれがあります。こうしたことを防ぐために、地域の生態系の中に入り込んだ外来種を排除して、地域の生物多様性を保全します。

外来植物除去にあたっての注意事項

立山黒部アルペンルートは、中部山岳国立公園であり国有林です。また、場所によっては、自然公園法による特別地域または特別保護地区並びに森林法による保安林に指定されています。

外来植物を除去する場合は、環境省・富山県の指導を受けて行ってください。



お願い

外来植物除去にご協力いただくグループの代表者の方へ

除去作業の前に富山県自然保護センターに連絡し、指導を受けてください。除去に必要な、ゼッケンや除去器具等をお貸しします。

また、除去した後は、作業日、場所、除去した外来植物の種類と数量（株数）、参加人数をご報告願います。

【問い合わせ】

〒930-1414

富山県中新川郡立山町芦峯寺室堂平

富山県立山自然保護センター

TEL 076-463-5401 FAX 076-463-5405



立山で重点除去対象としている外来植物

外国から入ってきた植物

セイヨウタンポポ

Taraxacum officinale / キク科



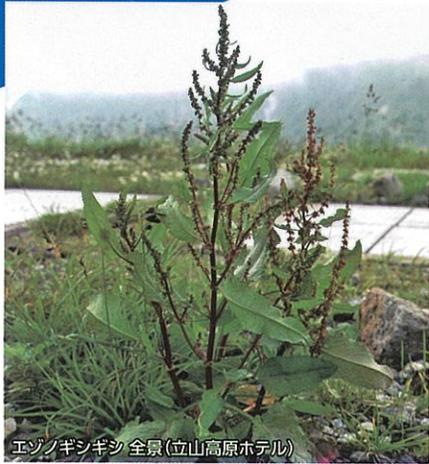
エソタンポポ セイヨウタンポポ

対処 花が開く前に地上部を鎌や剪定ばさみ、手で除去します。最低限、花茎を切りとって開花・結実を阻止します。土に大きな穴があかない範囲で根も除去します。

セイヨウタンポポ(室堂山荘東)

エゾノギシギシ

Rumex obtusifolius / タデ科



エゾノギシギシ(弥陀ヶ原・六甲学院前)



エゾノギシギシ 果実

エゾノギシギシ 根

エゾノギシギシ 全景(立山高原ホテル)

対処 花が開く前に地上部を鎌、剪定ばさみ、手で除去します。最低限、花茎を切り取って開花・結実を阻止します。土に大きな穴があくので根は掘りとりません。

シロツメクサ

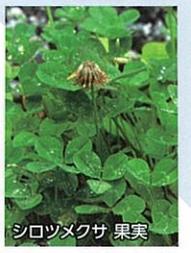
Trifolium repens / マメ科



シロツメクサ(立山高原ホテル)



シロツメクサ 花



シロツメクサ 果実

対処 花が開く前に全体を鎌や手で除去します。最低限、花茎を切りとって開花・結実を阻止します。匍匐枝によって旺盛に栄養繁殖するのでできるだけ全体を除去します。

フランスギク

Chrysanthemum leucanthemum / キク科



フランスギク 全景



フランスギク 芽ばえ



フランスギク 花

対処 花が開く前に地上部を手や鎌などで除去します。土に大きな穴があかない範囲で根も除去します。

タチオランダゲンゲ

Trifolium hybridum / マメ科



タチオランダゲンゲ(六甲学院前緑化地)



タチオランダゲンゲ (六甲学院前緑化地)



タチオランダゲンゲ シロツメクサ

対処 花が開く前に地上部を鎌や手で除去します。最低限、花茎を切りとって開花・結実を阻止します。丈夫な株をつかって旺盛に繁殖するのでできるだけ全体を除去します。

アイコン凡例



地上部除去 (低木・大型草本)



地上部除去 (中・小型草本)



掘りとり

国内の低地から入ってきた植物

オオバコ

Plantago asiatica / オオバコ科



オオバコ(天狗平山荘)



オオバコ 花と果実



オオバコ 種子

対処 花が開く前に全体をシャベルで除去します。土に大きな穴があかない範囲で根も除去します。五色ヶ原等ハクサンオオバコ生育地では交雑が起こらないよう、除去を徹底します。

イタドリ

Fallopia japonica / タデ科



イタドリ全景(弥陀ヶ原)



イタドリ 花と若い果実



イタドリ 芽出しは赤みを帯びる

対処 花が開く前に地上部を剪定ばさみ等で除去します。最低限、茎を切除して開花・結実を阻止します。土に大きな穴があくので根は掘りとりません。

スギナ

Equisetum arvense Linn. / トクサ科



スギナ 胞子茎(弘法)



雪解けとともに茎を伸ばすスギナ (追分2008)



法面の緑化資材から発生したスギナ

対処 胞子茎(つくし)は胞子の成熟前に手で除去します。栄養茎(すぎな)は最低限、地上部を引き抜き、分布拡大を抑制します。土に大きな穴があくので根は掘りとりません。

ヨモギ

Artemisia indica var. maximowiczii / キク科



対処 花が開く前に地上部を鎌や剪定ばさみ、手で除去します。最低限、花茎を切りとって開花・結実を阻止します。土に大きな穴があかない範囲で根も除去します。

オノエヤナギ

Salix sachalinensis Fr. Schm. / ヤナギ科



オノエヤナギ 全景



オノエヤナギ 枝

対処 花が咲く前、実が実る前に地上部を手鋸等で除去します。その後、出てくる新芽を繰り返し除去して衰退させます。

ゴマナ

Aster glehni var. hondoensis / キク科



ゴマナ



ゴマナ 花序(美松坂)

対処 花が開く前に全体を鎌や剪定ばさみで除去します。最低限、地上部を切除して開花・結実を阻止します。土に大きな穴があかない範囲で根も除去します。

フキ

Petasites japonicus (Sieb. & Zucc.) Maxim. / フキ科



フキ(室堂平 みくりが池)



フキ 花茎(ふきのとう)

対処 春の花が開く前に花茎(ふきのとう)を除去します。夏期に地上部を除去します。土に大きな穴があかない範囲で根も除去します。

ススキ

Miscanthus sinensis / イネ科



ススキ 全景



ススキ 果実(医王山)

対処 花が開く前に地上部を鎌や剪定ばさみを用いて除去します。最低限、花茎を切りとって開花・結実を阻止します。土に大きな穴があくので根は掘りとりません。

立山における外来植物除去(実績)

1. あらまし 立山黒部アルペンルート沿線の、特に公園利用者が集中する室堂平、天狗平、弥陀ヶ原周辺などにおいて、セイヨウタンポポやオオバコやスギナなど本来自生していなかった植物の侵入が認められるようになってきた。

これらの植物を放置しておく、在来の植物を駆逐するなど自然生態系に大きな影響を及ぼすと考えられるので、積極的に除去を行い、立山の貴重な自然の保全を図る。

2. 実施方法 平成20年度から、外来植物除去マニュアルに基づき、県ナチュラリスト協会などのボランティア活動として、人力による除去作業を行ってきた。

なお、作業の趣旨を公園利用者にも理解してもらえるよう、作業中は作業の趣旨を記載した看板を立てるとともに、各作業員は「外来植物除去中」のゼッケンを着用し、除去した外来植物は各自持ち帰りとしている。

3. 本年度実績 101,353本(193,966) ※カッコはH28実績
参加団体12(13)、活動日数21日(22)、延べ人数529人(823)
・室堂では、自然解説活動時に外来植物除去も並行して実施。

4. 年度別推移

(1) 場所別

(単位：本)

場所	H9~19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
室堂平	109,999	6,293	10,759	27,401	27,916	39,778	47,673	42,095	54,307	42,467	29,955	438,643
天狗平	27,428	23,083	42,153	330	0	9,685	14,272	17,714	19,078	19,810	19,005	192,558
弥陀ヶ原	100,614	74,837	47,656	91,942	142,100	77,830	62,767	65,633	67,014	124,122	50,763	905,278
その他	26,829	2,146	22,097	26,162	1,910	15,745	5,190	22,813	2,012	7,567	1,630	134,101
計	264,870	106,359	122,665	145,835	171,926	143,038	129,902	148,255	142,411	193,966	101,353	1,670,580

(2) 種類別

(単位：本)

植物名	H9~19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	計
セイヨウタンポポ	48,325	6,960	7,271	6,117	5,173	3,261	2,894	2,088	1,196	1,940	6,868	92,093
フランスギク	18,230	503	360	387	1,055	130	328	185	6	268	89	21,541
イタドリ	68,916	308	30,605	12,351	30,260	26,493	42,546	46,833	71,279	49,357	40,981	419,929
シロツメクサ	52,251	27,690	25,401	34,056	54,378	25,091	20,779	30,187	19,850	66,275	26,463	382,421
タチオランダゲンゲ	-	-	-	-	-	-	2,841	4,123	1,680	25,892	1,425	35,961
オオバコ	47,729	28,855	28,442	38,330	13,389	35,051	8,482	13,976	4,511	7,702	5,579	232,046
エソノギシギシ	4,849	2,041	2,135	792	1,288	627	933	1,405	834	769	51	15,724
スギナ	7,828	10,083	12,981	32,267	20,969	24,357	33,731	27,722	24,463	16,442	18,234	229,077
スズメノカタビラ	13,843	7,624	2,929	6,864	10,368	3,226	2,079	523	596	301	480	48,833
スカシタゴボウ	126	85	0	0	0	1,147	0	0	0	0	0	1,358
その他	2,773	22,210	12,541	14,671	35,046	23,655	15,289	21,213	17,996	25,020	1,183	191,597
計	264,870	106,359	122,665	145,835	171,926	143,038	129,902	148,255	142,411	193,966	101,353	1,670,580